

社会システム科学概論2006

第5回 社会学の基礎理論

社会と文化

- 文化とは人間が作り出し、制度、慣習のもと使用しているシンボルの総体であり、伝達・学習・伝播可能である。
- 1) コミュニケーション行為にはシンボルが不可欠であり、社会は文化により維持される。
- Q シンボルがなかつたら？
- 2) 狹義の特定領域の文化と社会との関連を扱う学問として、宗教、教育、言語社会学などが成立し、広くは文化社会学といわれる。

社会と環境

- 社会システムにおける複雑性の縮減：システムの境界内部において同質性を確保している状況のこと。その意味は、システムは環境に対応するために、内部秩序を維持しなければならない。環境と全く同じではシステムの体をなさない。
- 例：大学 環境 1) 18才人口の減少 社会人・留学生、継続型教育 2) 独法化 経営：効率・重点化 Q 人文学は役に立つ？

社会の次元

- ミクロ・レベル 行為 欲求が主導概念
- マクロ・レベル 社会システム 機能充足・存続
- * 行為の累積がシステムとはならない 個人主義的社会科学との相違：経済学：社会の創発的特性、集団・組織の論理から行為を説明
- Q 家族、国家と個人の欲求との関係
- 社会政策と（共有地の悲劇、フリーライダー）

ミクロ社会

- 古典期の社会学者は、マクロ社会に注目し、個人の中に潜む社会的要素に言及しなかつたが、G. Simmel によって論じられた
- 心的相互作用：諸個人がそれぞれの感情、目的、関心に促されて、互いに他者に作用を及ぼしあう過程 社会化の形式：競争（闘争）、支配と服従
- Q 嫉妬・羨望は誰に？そしてどうする？
- 秘密が導く関係とは？

行為

- 行為：欲求に動機づけられた目的達成の行動/環境・状況に拘束（対応）される
- Q 例で説明する「教える」
- 欲求：給与をもらう/何か話したい
- 目的：知的関心を刺激 社会学の基礎習得
- 環境：社会学の学問的蓄積 授業評価
- 状況：学生態度、レベルに応じて

- 行為の合理性: M.Weber
- 合理的行為: 目的合理的 ?
価値合理的 ?
- 非合理的行為: 感情的行為 ?
伝統的行為 ?
- 目的合理的行為 (経済学: 効用最大化) であるが、市場、完全情報、貨幣による損得計算が可能という条件付き
- Q 地鎮祭、占いはどのような行為か ?
- 立場、状況、結果から推定すると

社会的交換

- 贈与: 財の消費行為: 関係維持、名誉
- 交換: 損得計算が可能
- Q お歳暮は何を交換 ?
- Q 会費制/招待制の結婚式の意味 ?
- Q 賄賂、縁故は合理的か ?

Peter Blau, *Exchange and Power in Social Life*

- 基本原則:
- 1) 他者Bに報酬となるサービスを提供するAはBに義務を負わせる。
- その際、社会的交換は、返礼が特定化されず、他者への義務履行に関する信頼を必要とする。
- 例: おごることの意味 「ただほど高いものはない」
- 2) 行為に対する返礼は負債を追うことの拒否を意味し、失礼と解釈される。
- 例: 贈り物はすぐお返ししては失礼になる。

- 3) 压倒的な利益供与は、他者に対する優位を確立する手段である。
- 例: 「あんたにだけ貸したんだよ」闇金業者
- 愛情、是認、尊敬という感情及び評価は、交換に対する報酬である。あからさまではなく、社会的交換は、愛情と経済的交換の中間に位置する社会的結合形成の相互行為である。
- 4) 権力の源泉は一方的な依存である。従属者が資源を持たず、選択肢を持たず、依存の度合いを深めるイデオロギーを注入された場合、権力は維持される。義務への返礼ができない場合、権力的な関係に陥る。
- 例: カルト集団における信者

愛についての補論

- 恋愛: 内的誘引という究極的報酬のために社会的交換を行うこと
- 1) 魅力は、たで食う無視も好きづきであるが、市場的価値を基準とする 顔、社会的誘引
- 例: 恋愛初期においては、市場価値を高めるべく、お互いに安売りしないものである。
- 2) 相手より深くコミットすることは劣位に自分をおくことになる。
- 例: ジャブにより牽制し、最初に告白しないようにする。惚れた弱み

- 3) コミットすることが必要なものほど価値が高くなり、自己のコミットによっても価値が上がる 例: 高嶺の花 恋に恋する
- 4) 相手に全く誘引を与えなければ、相手のコミットを引き出すことはできない。
- 例: 少しずつづきには応じる方がよい くどかれ上手
- 5) コミットのインバランスは、相手に愛情の増大の証拠、真意をつかもうとやっさにさせる。バランスを取る。 例: 嫉妬、すねる、
- 6) インバランスのまま アッサー、貢ぐだけ。 バランスを保ち 飽和点としての結婚
- 7) 結婚 交換の義務化・神聖化 恋愛というより、家族愛の世界へ 互酬性の極致